

大阪の夜を楽しむ「EXPO NIGHT PARK 2026」を開催！

10 月 16 日～10 月 31 日はりんくう、11 月 13 日・14 日はミナミで
盆踊り、プロレス、音楽、日本文化、ポップカルチャーなど、多彩なナイトカルチャーを展開
～ 空港近接エリアと都心部から、大阪の新たな夜の過ごし方を創出 ～

SBI ホールディングス株式会社は、2026 年 10 月から 11 月にかけて、大阪の夜の新たな楽しみ方を創出するナイトカルチャー実証「EXPO NIGHT PARK 2026」を実施します。

10 月 16 日（金）から 31 日（土）まではりんくうエリアで「OSAKA NIGHT GATEWAY」、11 月 13 日（金）・14 日（土）は心斎橋・なんばを中心とするミナミエリアで「OSAKA NIGHT JOURNEY」を開催します。

空港に近接するりんくうと、多彩な文化・エンターテインメントが集積するミナミ。それぞれ異なる特徴を持つ 2 つのエリアを舞台に、既存施設や地域資源、エンターテインメント等を組み合わせながら、夜間の来訪・滞在・回遊・消費の可能性を検証します。



りんくうを「夜の目的地」へ『OSAKA NIGHT GATEWAY』

「OSAKA NIGHT GATEWAY」では、関西国際空港から一駅という立地を生かし、りんくうを、夜も滞在・交流を楽しめる目的地として捉えた実証を行います。

ヤッホーブルーイング大阪醸造所「よなよなビアライズ」を拠点に、飲食を楽しみながら過ごせる夜の空間をつくとともに、音楽やアート、日本文化、エンターテインメント等を組み合わせたコンテンツを展開します。

重点日となる 10 月 23 日（金）・24 日（土）には、屋外空間を活用した盆踊りを開催します。地域で活動する踊り手や団体等の参加も予定し、来場者も一緒になって楽しめる、日本の夜祭文化を体験する場を創出します。

また、10月30日（金）・31日（土）には、会場にプロレスリングを設置し、関西を拠点に活動するプロレス団体による試合を開催予定です。飲食だけではなく、夜ならではのライブエンターテインメントを組み合わせることで、りんくうでの新たな夜の過ごし方を提案します。

旅行者やホテル宿泊者、関西国際空港・周辺企業の就業者、地域住民など、多様な人々が夜にりんくうを訪れ、滞在するきっかけをつくり、空港近接エリアにおける夜間需要や地域消費の可能性を検証します。

心斎橋・なんばの夜を「街ごと」楽しむ『OSAKA NIGHT JOURNEY』

「OSAKA NIGHT JOURNEY」では、心斎橋・なんばに点在する音楽・文化・エンターテインメント施設や飲食店等をつなぎ、1Day チケットを通じて複数の会場を巡る、都市型ナイトカルチャー体験を展開します。

各会場では、それぞれの施設やエリアの特色を生かし、HIPHOP・DJ・ライブ等の音楽コンテンツをはじめ、地下アイドル等のポップカルチャー、和太鼓や日本舞踊等の日本文化パフォーマンス、プロレス、盆踊り、VR・eスポーツ等のデジタルエンターテインメント、アート、飲食・交流など、多様なコンテンツを展開予定です。

一つの大型会場に人を集めるのではなく、来場者自身が興味のあるコンテンツや会場を選びながら、心斎橋・なんばの街を巡ることが本事業の特徴です。街の中に存在する多様な夜の魅力を一つの体験としてつなぎ、街全体を楽しむ新たな夜の過ごし方を提案します。

また、クリスタ長堀には、イベントの案内・受付やギャラリー等の機能を備えた「Culture Gate」を設置予定です。来場者がその日の楽しみ方や各会場の情報に触れ、そこから街へ出かけていく回遊の起点として展開します。

音楽、日本文化、ポップカルチャー、スポーツ・エンターテインメント、デジタル、アート、飲食など、大阪・ミナミが持つ多様な魅力を横断的につなぐことで、来訪者の回遊・滞在と地域消費の促進を目指します。

大阪の夜を、継続的な観光・地域資源へ

本実証は、大阪府「令和8年度大阪府ナイトカルチャー発掘・創出事業補助金」の採択事業として実施するものです。

SBIホールディングスは、地域、交通、宿泊、観光、エンターテインメント等の関係事業者と連携しながら、今回の実証を通じて、夜間に人がどのように訪れ、滞在し、街を巡り、消費するのかを検証します。

得られたデータや知見を今後の事業設計に生かし、単発のイベントにとどまらず、大阪の既存の文化・施設・地域資源を生かした継続的なナイトタイムの仕組みづくりにつなげてまいります。

※各事業の開催概要は別紙をご覧ください。

「EXPO NIGHT PARK 2026」開催概要

1. OSAKA NIGHT GATEWAY

りんくうを「夜の目的地」へ

開催期間	2026年10月16日（金）～10月31日（土） ※10月15日（木）に関係者・報道向けプレ開催を予定
主会場	ヤッホーブルーイング大阪醸造所「よなよなビアライズ」 （大阪府泉佐野市りんくう往来北1-24）
開催時間	通常日 19:00～23:00 を基本に実施 ※一部日程は開始時刻が異なります。10月30日・31日は深夜帯の実証を予定
主なコンテンツ （予定）	#10月16日（金）～10月22日（木）／10月25日（日）～10月29日（木） 通常日は、「よなよなビアライズ」を拠点に、飲食と音楽・アート・日本文化等を組み合わせた夜間コンテンツを展開します。 #10月23日（金）・24日（土） 盆踊り 屋外空間を活用し、地域で活動する踊り手・団体等の参加も予定した盆踊りを開催。来場者も一緒に参加し、日本の夜祭文化を楽しめる空間を展開します。 #10月30日（金）・31日（土） プロレス 会場にプロレスリングを設置し、関西を拠点に活動するプロレス団体による試合を開催予定。飲食とライブエンターテインメントを組み合わせた夜間体験を展開します。
料金	通常日 3,000 円／重点日 4,000 円
主な狙い	旅行者、ホテル宿泊者、関西国際空港・周辺企業の就業者、地域住民等を対象に、空港近接エリアにおける夜間需要、滞在・消費、地域・交通・観光事業者等との連携可能性を検証します。

2. OSAKA NIGHT JOURNEY

心斎橋・なんばの夜を「街ごと」楽しむ

開催日	2026年11月13日（金）・14日（土）
対象エリア	心斎橋・なんばを中心とする複数会場
回遊拠点	クリスタ長堀内に「Culture Gate」を設け、案内・受付・ギャラリー・回遊ハブ機能を展開予定
主なコンテンツ （予定）	各会場の特色を生かし、以下のような多様なナイトカルチャーコンテンツを展開します。 ・HIPHOP・DJ・ライブ等の音楽コンテンツ ・地下アイドル等のポップカルチャー ・和太鼓・日本舞踊等の日本文化パフォーマンス ・プロレス ・盆踊り ・VR/eスポーツ等のデジタルエンターテインメント ・アート・クリエイティブ ・飲食・交流 等 来場者は1Day チケットを利用し、興味のあるコンテンツや会場を選びながら心斎橋・なんばの街を巡ります。
参加方式	各日 1Day チケット 5,000 円
主な狙い	既存の夜間コンテンツや施設を横断的につなぎ、来場者による複数会場間の回遊、夜間滞在、地域消費を促進するとともに、ミナミの街全体を一つのナイトカルチャー体験として発信します。

※内容は2026年9月30日時点の予定です。関係機関との協議・手続等により変更となる場合があります。

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

SBIホールディングス株式会社 大阪本社 事業推進部 伊藤 TEL：06-7663-6572 E-mail：shunsuke@sbigroup.co.jp

EXPO NIGHT PARK

取組内容 ご紹介資料

SBIホールディングス株式会社

令和
5 年度

大阪府より「購買行動データ利活用に係る調査検討業務」を
SBIHDが受託（プロポーザル公募）

▶ **9** 社と推進 ▶ 大阪府全域で決済データを収集・地域に還元

令和
6 年度

内閣府より「インバウンドに返金可能なデジタル通貨」の
規制改革を提案（実証事業を実施・大阪府大阪市）

▶ **35** 社と推進 ▶ 大阪市内でインバウンド向けデジタル通貨を展開

令和
8 年度

ナイトタイムエコノミーによる地方創生・ツーリズム戦略、
ツーリズム経済圏の形成・ツーリズム環境の整備を推進

▶ **135** 社と推進 ▶ 地域通貨×観光×免税×行動データ

万博のレガシーとして、**夜間経済と文化を融合した新しい都市体験拠点**を創出。

（大阪から日本の夜を変える新しい社会実験「未来を創る夜の街」）

【文化・社会的効果】

- ・万博レガシーの継続利用から発展（自動運転技術・顔認証決済・ステーブルコイン等）
- ・大阪（関西）の夜間文化の継承と世界への発信
- ・若手アーティスト・起業家の登竜門に

【波及効果】

- ・「ナイトカルチャー都市・大阪」モデルの日本各地への展開（インバウンド経済倍増計画）
- ・働き方改革（旅行者も短期滞在型で働ける、夜間働くことがあこがれの職業に）
- ・日本から出国した旅行者をWeb3の世界でつなげる

SBI Team OSAKA 約130社参加（2026年9月28日現在）

 大阪観光局	 （一社）KIX泉州 ツーリズムビューロー	 関西エアポート(株)	 (株)ワーディ	 パナソニックコネクト(株)	 関西テレビ放送(株)	 大阪市高速電気軌道(株)
 JTBコミュニケーション デザイン(株)	 大日本印刷(株)	 西尾レントオール(株)	 (株)RETOWN	 J. フロント リテイリング(株)	 (株)TryHard Japan	 (株)NANKAI
 CMK GALLERY	 (株)ロフトワーク	 東急不動産(株)	 西日本旅客鉄道(株)	 (株)大伸社ディライト	 (株)SIパートナーズ	 SBIホールディングス

毎月1～2回の勉強会・定例会を開催

【第5回定例会：齋藤貴弘弁護士による規制勉強会】

日時：2026年2月2日（月） 16:00～

現地：SBIホールディングス 大阪本社＋オンライン（ハイブリッド）

自民党「ナイトタイムエコノミー議員連盟」民間アドバイザリーボード座長（2017年～）

一般社団法人ナイトタイムエコノミー推進協議会代表理事（2019年～）



内容：ナイトタイムエコノミーにおける警備・安全対策の主な取り組み

【第6回定例会：山口准教授によるエリアマネジメント勉強会】

日時：2026年3月9日（月） 16:00～

現地：SBIホールディングス 大阪本社＋オンライン（ハイブリッド）

氏名：山口 敬太（Keita Yamaguchi）

所属：京都大学大学院 地球環境学堂 准教授（以前は工学研究科）

内容：ナイトタイムエコノミーにおけるエリアマネジメントについて



2026年3月24日 ナイトカルチャーの先進地域のCity of London視察団と意見交換



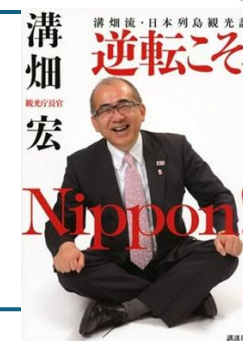
【第7回定例会：大阪観光局溝畑理事長による勉強会】

日時：2026年4月13日（月） 16:00～

現地：大阪観光局会議室＋オンライン（ハイブリッド）

氏名：溝畑宏代表理事理事長

内容：アジアNo.1の国際観光文化都市・大阪をめざして



①2035年関空はアジアのハブ空港に（2026年10月に大阪府の補助金で実証実験を実施）

5

空港連動型ナイト経済圏の構築ロードマップ（2026年実証プロジェクト→常設化・拡大→関空国際ナイトゲートウェイ化へ）

万博レガシーを活かし、空港利用者の夜間滞在・消費を促進するナイトコンテンツと受入環境を実証・拡大し、アジアを代表するナイトカルチャー経済圏へ

フェーズ1：実証段階（2026年8月～2027年3月）

空港利用者のナイトタイム消費の可能性を検証



- ✓ 空港利用者のナイトタイム消費の可能性検証
- ✓ コンテンツ・交通・データの連携モデル構築
- ✓ 継続事業化に向けた課題抽出と改善

ターゲット

- トランジット客 数時間～半日滞在
- LCC利用者・個人旅行者 若年層・SNS発信力が高い

実施エリア

関西国際空港～りんくうエリア
(りんくうタウン・りんくうプレミアム・シークル・周辺ホテル等)

実施期間

2026年8月～2027年3月
※期間中の週末・大型イベント日を中心に実施

実施施策（6つの重点施策）

1 ナイトシャトル 実証運行

空港～りんくうエリアを 深夜までシャトルを運行

・22:00～2:00まで運行
・多岐回線・キャパシティ増大
・利用促進・満足度の向上

2 KIX Night Pass (周遊パス)の実証

空港利用者向け周遊パスを 発行し、回遊・消費を促進

・シャトル・飲食・娯楽がセット
・デジタルチケットで利用・利用
・購買データ・満足度を検証

3 ナイトコンテンツ イベントの実証

海沿い・商業施設を活用した、 ナイトエンターテインメントを展開

・音楽・ライブ・ナイトマーケット
・週末・大型イベントの中心に展開
・SNS発信・乗客動機を抽出

4 空港内プロモーション 強化

到着客の滞在時間延長を 促進し、りんくうエリアへの回遊を促進

・デジタルサイネージ・観光案内所
・多言語・QR予約・SNS連携
・デジタルボードで可視化

5 データ収集・分析 プラットフォーム構築

利用データ・行動データを収集し、 効果検証と改善に活用

・チケット・交通・消費データ連携
・デジタルボードで可視化
・異動動機と満足度を検証

6 ナイトエンターテインメント イベントの実証

海沿い・商業施設を活用した、 ナイトエンターテインメントを展開

・音楽・ライブ・ナイトマーケット
・週末・大型イベントの中心に展開
・SNS発信・乗客動機を抽出

空港利用者の夜間行動モデル（実証イメージ）



りんくうからはじまる、24時間つながる夜の国際観光拠点へ

空港とまちをつなぐ「夜の経済圏」を実証し、持続可能なナイトカルチャーモデルを構築

フェーズ2：常設化と泉州湾岸地域への展開（2027年4月～2029年3月）

空港連動型ナイト経済圏を広域化し、24時間つながる夜の国際観光拠点へ

フェーズ2の期間・目的

期間 2027年4月～
2029年3月
(常設化・拡大フェーズ)

- ✓ ナイトコンテンツの常設化と収益基盤の確立
- ✓ 泉州湾岸地域へのエリア拡大による広域連携
- ✓ 滞在時間の延長・消費額の最大化
- ✓ 万博後のレガシーとして持続可能な地域経済へ

展開エリアとコンセプト

空港から湾岸へ、夜がつながる広域観光ルート

関西国際空港を起点に、りんくうタウンから泉州湾岸地域へ 多様な魅力を持つナイトコンテンツを展開し、広域周遊・滞在を促進



展開エリアとコンセプト（泉州湾岸ライン）



広域周遊の仕組み（移動・チケット・情報連携）

- シームレスな移動
 - ・広域周遊バスを導入
 - ・キャパシティ・QR決済
 - ・多言語アプリで情報
 - ・予約・決済を一元化
- 共通バス・デジタル連携
 - ・深夜シャトル・周遊パスの拡大
 - ・海上・陸上モビリティの連携
 - ・ノンストップ・シェアモビリティ導入

期待される効果

- 夜間消費額の拡大
1人あたり消費額・経済波及の増加
- 滞在時間の延長
空港利用者の滞在時間・回遊時間の延長
- 周遊・回遊の促進
エリア間の回遊・リピーター率の向上
- 地域経済の活性化
雇用創出・事業者収益の拡大・税収増
- 国際競争力の向上
同業他との連携・多言語化・ブランド力向上

実現に向けた連携

- 行政
 - ・大阪府・泉州地域自治体
 - ・観光振興・インフラ整備支援
 - ・観光・ナイト経済政策の推進
- 交通事業者
 - ・鉄道・バス・タクシー・シャトル運行事業者等
- 民間事業者
 - ・商業施設・ホテル・飲食・イベント事業者等
- 民間企業・旅行会社
 - ・LCC・エアライン・旅行会社・OTA等
- デジタル・メディア
 - ・アプリ・決済・データ分析・プロモーション等

フェーズ3：関空国際ナイトゲートウェイ化（2029年度以降）

アジア観光のハブ拠点・国際フェス開催を通じた世界とつながるナイト経済圏へ

フェーズ3の目的とビジョン

- ✓ 24時間つながる国際ゲートウェイ機能の強化
- ✓ ナイトタイムの国際競争力・深夜アクセス拡大
- ✓ 多言語・デジタル対応のスマートナイト空港体験
- ✓ 空港・周辺・関西各地をシームレスに結ぶ移動ネットワーク

実現に向けた重点施策

- 1 関空国際ナイトゲートウェイ化**
 - ・国際線の深夜・早朝便の拡大
 - ・24時間対応の空港・検閲・案内体制
 - ・多言語対応のデジタルサービス拡充
 - ・空港内ナイトエンターテインメント・ラウンジ拡充
- 2 アジア観光のハブ拠点化**
 - ・アジア系観光客向けプロモーション強化
 - ・広域観光ルート・デジタルガイド連携
 - ・滞在型コンテンツ・体験プログラム拡充
 - ・MICE・ビジネス・カルチャーを融合
- 3 国際フェスの定期開催**
 - ・国際規模の音楽・アートフェス開催
 - ・りんくう・岬町・ビーチ・空港周辺を活用
 - ・アジアのクリエイターと共創する場
 - ・夜間消費・地域経済を大きく牽引

展開エリアと連携イメージ（ナイトゲートウェイネットワーク）



目標（2033年度目標値）

- 夜間消費額
2026年度 約2.5倍
- インバウンド宿泊者数
2026年度 約2.0倍
- 国際フェス来場者数(年間)
100万人以上
- 国際線深夜・早朝便数
2026年度 約1.5倍
- 満足度(アンケート評価)
90%以上

国際フェスの開催イメージ



関空からはじまる、世界とつながる夜。アジアの旅の入り口から、感動と経済の新時代へ。

「空港前で“日本の夜”を体験できる国際ナイトカルチャーエリア」

泉佐野市のりんくうエリアは、関西国際空港に隣接し、国内外観光客の玄関口として高いポテンシャルを有している。一方で、宿泊・通過型利用が中心となっており、夜間滞在・消費を促進するコンテンツ不足が課題となっている。

2025年大阪・関西万博を契機に、インバウンド需要の拡大、深夜交通・宿泊需要、多言語対応型エンターテインメントへのニーズ増加が見込まれるため、りんくう周辺における「空港型ナイトカルチャー拠点」の形成を推進する。

現在、各自治体の首長や大阪観光局、関西エアポート、大阪府と打合せを実施。

【2026年度】

10月から関西空港の玄関口、泉佐野市をはじめとする泉州地域で
今年度は大阪府の補助金で実証実験を5回以上実施予定

【2027～2029年度以降】

来年度以降は、今年度の実証結果をもとに、
地域事業者・自治体・KIX泉州ツーリズムビューロー等との連携を広げながら、
持続的な運営主体と地域通貨を活用したエリアマネジメントの仕組みを構築。
常設会場（泉佐野・田尻町・泉南市）と日替夜市（10市町）を展開し、
泉州地域を旅行者の通過地点から目的地点へ転換。
滞在・消費を生み出す地域主体の事業へ発展させる。

（参考）一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューロー

：堺市以南の13市町と民間企業などの官民が一体となり、泉州地域における、観光産業の成長を図り、もって泉州地域の文化の創造、人材の育成及び地域経済の発展に寄与することを目的として設立。市町の首長が理事構成メンバーで理事長が泉大津市長。他に関西エアポート、池田泉州銀行、南海電気鉄道、大阪観光局、泉州地域広域観光連携協議会などが参加



りんくうタウン駅周辺ホテルでは約3,000室あり、一日に約5,000人以上が滞在。しかしながら、飲食店を含むナイトカルチャーが無いため、ホテルの自室で飲食している人が大半。潜在需要約20億円と試算。

HOTEL PARTNERSHIP



5ホテル合計 **1,920室**

国内外の多様な旅行者が滞在する、
りんくうタウンの宿泊基盤

駅周辺5ホテルとの連携構想

1,920室の宿泊基盤で、滞在価値と地域への波及を育てる

りんくうタウン駅周辺の5ホテルを中心に、本事業に関する宿泊者との接点づくりを検討します。宿泊者ニーズや消費・行動を捉え、得られたデータや知見を企画・運営の改善に生かすことで、地域に波及する持続的な連携モデルの形成を目指します。

りんくうタウン駅周辺に集積する宿泊・体験拠点



ホテル連携を起点に
目指すこと

01 滞在価値の向上



宿泊者にりんくうで過ごす夜の
新たな選択肢を提供し、滞在中の
体験価値を高める。

02 宿泊者ニーズの可視化



参加状況や消費行動、満足度、
参加・不参加理由から、夜間の
潜在需要を捉える。

03 データに基づく改善



実証で得られたデータや知見を、
コンテンツ、情報発信、運営方法
の改善に生かす。

04 地域波及と持続化



ホテル、会場、地域事業者との
連携を蓄積し、継続運営や他地域
展開につながるモデルを検証する。

主な検証項目
(評価の視点)

需要・消費



来場者数
(宿泊者・日帰り者)



宿泊者数・旅行者の
参加状況



滞在時間
(夜間の延長)



会場内消費額
(飲食・物販等)

体験価値



総合・コンテンツ
満足度



再訪意向



参加意向・
不参加理由



滞在価値への
評価

継続性・事業性



運営負荷



収支性



関係者との
連携継続性



他地域への
展開・再現可能性

5 | 開催スケジュール

10月15日のプレ実証から31日まで、 通常実証と4日間の重点実証を連続して展開

10月15日のプレ実証を起点に、16日から31日まで連続して実証を行います。通常日は屋内を中心に19:00～23:00で運営し、既存貸切のある3日間は21:00から開始します。重点日4日間は裏手駐車場も使用し、10月23・24日に盆踊り、10月30・31日にプロレスを実施します。30・31日は屋外運用終了後も屋内コンテンツを継続し、翌朝6:00までの深夜需要を検証します。

夜があるから、
また、りんくうへ。

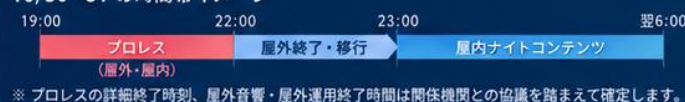
OSAKA NIGHT GATEWAY
RINKU
NIGHT CULTURE
FOR A BRIGHTER TOMORROW

WEEK 1 10/15 (木) ～10/18 (日)	10/15 (木) PRE 時間調整中 屋内 プレ実証 設備・受付・スタッフ オペレーション等を確認	10/16 (金) REGULAR 19:00～23:00 屋内	10/17 (土) REGULAR 19:00～23:00 屋内	10/18 (日) REGULAR 19:00～23:00 屋内	食・音楽・日本文化・エンターテインメントで りんくうの夜を盛り上げる 		
	10/19 (月) REGULAR 21:00～23:00 屋内 ※ 既存貸切後に開始	10/20 (火) REGULAR 19:00～23:00 屋内	10/21 (水) REGULAR 19:00～23:00 屋内	10/22 (木) REGULAR 19:00～23:00 屋内	10/23 (金) SPECIAL (盆踊り) 19:00～23:00 屋内+裏手駐車場  盆踊り	10/24 (土) SPECIAL (盆踊り) 19:00～23:00 屋内+裏手駐車場  盆踊り 周辺：やきそば&餃子EXPO	10/25 (日) REGULAR 19:00～23:00 屋内 日中：やきそば&餃子EXPO
	10/26 (月) REGULAR 21:00～23:00 屋内 ※ 既存貸切後に開始	10/27 (火) REGULAR 19:00～23:00 屋内	10/28 (水) REGULAR 21:00～23:00 屋内 ※ 既存貸切後に開始	10/29 (木) REGULAR 19:00～23:00 屋内	10/30 (金) SPECIAL / LATE NIGHT (プロレス) 19:00～翌6:00 屋内+裏手駐車場 (23時以降 屋内のみ)  KOBEメキシカンプロレス	10/31 (土) SPECIAL / LATE NIGHT (プロレス) 19:00～翌6:00 屋内+裏手駐車場 (23時以降 屋内のみ)  大阪プロレス 周辺：大阪芸術花火	

注意事項

- 本日程については、施設側と実施可能性を概ね確認済み。設営・撤収時間等の詳細は引き続き調整します。
- 10/19・26・28は施設の既存貸切利用終了後、21:00から実証を開始します。
- 重点日の屋外音響使用時間・音量等は警察その他関係機関との協議を踏まえて確定します。
- 周辺イベント開催日は、人流・交通・駐車場等への影響を確認し、必要な運営調整を行います。

10/30・31の時間帯イメージ



開催パターン凡例

- PRE** プレ実証
- 実施日：10/15 (木)
 - 実施時間・内容は調整中

- REGULAR** 通常実証
- 実施日：重点日を除く各日
 - 原則 19:00～23:00
 - 10/19・26・28は 21:00から開始
 - 屋内での継続運営

- SPECIAL** 重点実証
- 実施日：10/23・24 (盆踊り)
10/30・31 (プロレス)

- 時間：19:00～23:00
(30・31は翌6:00まで)
- 屋内+裏手駐車場
- 文化・エンターテインメント
コンテンツを実施

- LATE NIGHT** 深夜実証
- 実施日：10/30・31
 - 23:00以降は屋内のみ
 - 翌6:00まで営業時間を延長し、
深夜帯の需要を検証

OSAKA NIGHT GATEWAY
RINKU
NIGHT CULTURE
FOR A BRIGHTER TOMORROW

なんば・心斎橋での実証について

大阪なんばで“日本の夜”を体験できる「世界三大ナイトシティ」を目指す

大阪はインバウンド回復が全国トップクラスで、旅行者は「夜に遊べる場所」を求めている。万博後の大阪では「夜の滞在価値」が重要であるが、魅力あるコンテンツが不足しており、夜の回遊不足で滞在時間が短く、消費単価が小さい。ネオン、雑多感、食、路地、人情、エンタメを世界観とする「まち全体がテーマパーク」と、コンテンツ整備充実させ、観光客向け滞在時間の延伸による夜間消費向上を指



【対象】

- ・現在の繁華街特区

【実施内容】

- ・回遊性向上のためのエリア設計
- ・高度管理型運営モデル構築検証
- ・制度設計に向けたデータ取得
- ・地域通貨を活用したエリアマネジメントモデルの構築
- ・AIセキュリティモデルの構築

【Next管理モデル】

- ・キャッシュレス管理
- ・警察と警備モデルの構築
- ・認証店との規格作り
- ・eKYCで本人確認
- ・入退場ログ保存/金属探知機

DAY1・DAY2 実施構成（現時点案）

OSAKA NIGHT JOURNEY | NIGHT CULTURE CREATES A MORE VIBRANT OSAKA

DAY1・DAY2で異なるCultureを展開し、2日間それぞれに夜の回遊をつくる

11月13日・14日はそれぞれ独立した1日券5,000円で実施し、両日に共通する回遊・参加基盤を持ちながら、日ごとに異なる会場・コンテンツを組み合わせる。
OSAKA NIGHT JOURNEYは、前夜祭・本祭のような位置付けではなく、それぞれを独立したナイトカルチャー体験として構成。異なるCultureとの出会いや街の回遊を生み出す。

現時点の構成案であり、
11月13日・14日ともに
会場・コンテンツは今後変更となる
可能性があります。
※詳細は決まり次第お知らせします。

DAY1 | 11.13 FRI.

日本・アジアの多様な夜文化を体験
音楽・ダンス・日本文化・エンターテインメントなど、多彩なコンテンツが満載。

1日券
¥5,000



TWICE

SIDE-K

G2

CRAZY LAND
by CHEVAL

eスタジアム なんば本店

UNDERGROUND IDOL
LIVE IDOL
新しいアイドルシーン

K-POP / K-HIPHOP
Kカルチャー
ダンス・音楽・ファッション

PRO-WRESTLING
大阪エンターテインメント

BON ODORI
日本の夜祭文化を
ナイトクラブで体験

eSPORTS / GAME
デジタル・ゲーム文化
体験型コンテンツ



豚しゃぶ 英

Odette

MIRACLE WORLD OSAKA
※調整中

FOOD / NIGHT DINING

食を通じた交流体験

BAR / SOCIAL

上質なナイトタイムの交流

ART & CREATIVE

現代アート・クリエイティブ

COMMON PLATFORM

一両日に共通する参加基盤



CULTURE GATE (クリスタ長堀)

イベント案内・会場情報・参加者サポート
ART GALLERY・回遊の起点

1 DAY TICKET
¥5,000

DAY1・DAY2それぞれ独立チケット
(1日券)

DIGITAL
デジタル通貨等を活用した
参加・決済機能
(チケット・飲食決済・スタンプラリー等)

CITY EXPERIENCE
飲食・買物・周辺施設・地域との接続
大阪ミナミの街全体を楽しくむけ

DAY2 | 11.14 SAT.

音楽・カルチャー・日本文化などより広く横断
ダンスミュージックから日本文化、ポップカルチャーまで、異なる文化が交錯する1日。

1日券
¥5,000



club JOULE

BLVCK WATER

TRIANGLE

WAXX

G2

DANCE MUSIC
DJ
クラブカルチャーの中心地

HARD TECHNO
アンダーグラウンド
ミュージック

AMEMURA CULTURE
ストリート・クラブス
ローカルカルチャー

NINJA / WADAIKO
日本文化パフォーマンス
和太鼓・日本舞踊等

PRO-WRESTLING
大阪エンターテインメント



CRAZY LAND
by CHEVAL

eスタジアム なんば本店

豚しゃぶ 英

Odette

MIRACLE WORLD OSAKA
※調整中

BON ODORI

eSPORTS / GAME

FOOD / NIGHT DINING

BAR / SOCIAL

ART & CREATIVE

日本の夜祭文化を
ナイトクラブで体験

デジタル・ゲーム文化
体験型コンテンツ

食を通じた交流体験

上質なナイトタイムの交流

現代アート・クリエイティブ

TWO DAYS,
MANY ENCOUNTERS

2日間で、まだ知らない大阪に出会える。



違うCultureに
出会う



新しい人と
つながる



街を巡り
大阪をもっと好きになる

11月13日・14日は、それぞれ独立した1日として
異なる会場・コンテンツで、夜の回遊を楽しめます。
※会場・コンテンツは今後変更となる可能性があります。

※ 上記は現時点の実施構成の一例です。会場名・コンテンツ・出演者等は今後変更となる可能性があります。 ※ 画像はイメージです。

さあ、2つの夜で、まだ見ぬ大阪を旅しよう。

OSAKA NIGHT JOURNEY

事業実施スケジュール（現時点案）

OSAKA NIGHT JOURNEY | NIGHT CULTURE CREATES A MORE VIBRANT OSAKA

9月の具体化フェーズから、11月13・14日の実施に向けて順次確定・実装

各部会で会場・コンテンツ・デジタル・地域連携の具体化を並行して進め、10月に実施内容と運営設計を固めた上で、11月13・14日の本番へつなげる。実施後は成果を整理し、次年度以降の継続・発展に向けた検討を行う。

確定済み事項 CONFIRMED

- ✓ 11月13日・14日の開催
- ✓ 各日 1DAY TICKET 5,000円
- ✓ Culture Gateの使用場所（なんば・心斎橋エリア）
- ✓ 4部会による検討体制

進行中の主な項目 IN PROGRESS

- ✓ 会場・コンテンツの具体化
- ✓ 公式LPの制作
- ✓ ホテル・宿泊施設との連携
- ✓ デジタル通貨・チケット導線の構築
- ✓ 地域・周辺イベントとの連携
- ✓ 運営詳細・スタッフ配置の検討

PHASE 1
9月 実施内容の具体化

NOW 実施内容を具体化中



- 4部会での定例協議を開始
- 会場・コンテンツの当て込み、条件調整
- DAY1/DAY2構成の具体化
- Culture Gateの機能・運営設計
- チケット・デジタル通貨等の参加導線検討
- 商店街・地域・周辺イベントとの連携協議
- ホテル等との連携・チケット販売可能性を協議
- 公式LP制作

PHASE 2
10月 確定・制作・集客開始

- 実施会場・コンテンツの順次確定
- 出演・実施内容等の最終調整
- チケット販売・参加導線の実装
- デジタル施策の仕様・運用整理
- Culture Gateの運営・掲出物等の準備
- 公式LP公開・情報更新
- SNS、会場・出演者・地域等からの情報発信
- ホテル・商業施設等でのPR展開
- 当日運営体制・スタッフ配置の具体化

10/31・11/1 ミナミフェス等で事前PR



ブース出展・
イベント告知・
チケット案内 など

PHASE 3
11月上旬 本番直前準備

- 各会場との最終確認
- DAY1/DAY2のプログラム・参加案内確定
- 当日スタッフへの運営共有
- Culture Gateの設営・運営確認
- チケット・デジタル運用の確認
- 会場間の連絡・情報共有方法を確認
- 来場者向け情報の最終発信
- 周辺イベント・ホテル等との連携内容を最終確認

PHASE 4
11月13日・14日 イベント実施

- 複数会場でナイトコンテンツを展開
- Culture Gateを運営
- 街・飲食・地域への回遊を促進
- 来場・利用・参加者の声を把握

大阪ミナミの夜を、もっと面白く。

PHASE 5
11月下旬～3月 成果整理・次年度への反映

- 実施結果の整理
- 来場・回遊・消費等の取得可能な情報を確認
- 参加者アンケート・事業者フィードバック
- 運営上の課題整理
- 関係者との振り返り
- 次年度以降の継続・発展に向けた検討

継続・発展する
ナイトカルチャーへ

ウェクストリーム

	会場・出演者調整	コンテンツ確定・制作	最終確認	実施	
🎵 コンテンツ（コンテンツ部会）					
💻 デジタル（デジタル部会）	LP制作・チケット導線設計	システム構築・テスト	最終確認	運用	データ整理・効果検証
🏠 地域・宿泊連携（商店街・地域連携部会）	地域・ホテル等との調整	連携施策の具体化	最終確認	連携施策の実施	振り返り・継続検討
📢 広報・集客（運営事務局・各部会）	情報設計	広報展開・チケット販売	直前PR強化	当日発信	効果検証
👥 運営準備（運営事務局部会）	運営設計	スタッフ配置・マニュアル整備	リハーサル・最終調整	当日運営	課題整理

OSAKA
NIGHT
JOURNEY

つながる人、広がる夜。大阪ミナミは、もっと面白くなる。



人の交流



地域経済の活性化



大阪の魅力向上



次年度へつなぐ

OSAKA NIGHT JOURNEY

2026-2027 実証フェーズ

空港連動型・なんば実証

2027-2029 拡大・常設化

泉州湾岸地域・都市全域へ展開

2029~2035 国際ナイトゲートウェイ化

世界から人・資本・コンテンツが集まる 金融・エンターテインメント都市へ

関西国際空港・泉州湾岸

空港連動型ナイト経済圏

KIX

フェーズ1 2026.8-2027.3

空港利用者のナイト経済実証

- ナイトシャトル運行
- KIX Night Pass
- ナイトコンテンツ・イベント
- データ収集・分析

りんくうタウン
(エンターテインメント)

田尻町
(ガストロノミー)

泉州市
(リゾート・ビーチ)

阪南市
(アウトドア)

岬町
(自然・星空)

泉州湾岸エリア
24時間つながる広域観光ルート

なんば・心斎橋

世界三大ナイトシティ

2026.11 実証イベント
OSAKA NAMBA NIGHT PARK

- 夜の回遊性向上
- ネオン・エンタメ・食・ショッピング
- キャッシュレス・データ活用
- 安心・安全な都市運営

空港から
ナイト人流

道頓堀
DOTONBORI

都市から
世界へ

夜を楽しむ。人がつながる。街が成長する。



ナイトショッピング



フード・ガストロノミー


エンターテインメント
ライブ・アート

デジタル体験
XR・メタバース

夢洲

世界で最も体験価値の高い金融都市

国際会議・MICE
グローバルイベント

Web3・スタートアップ
グローバルVC集積

YUMESHIMA
DIGITAL FINANCE & ENTERTAINMENT CITY

2029~ 国際ナイトゲートウェイ化

- デジタル金融・Web3都市
- 国際フェス・アリーナ
- サーキット・モビリティ体験
- 6大陸ゾーン(金融・技術・文化・観光)



Future Mobility Circuit



国際アリーナ・イベント



6大陸ゾーン



スマートホテル・滞在

テクノロジーで支える基盤

ブロックチェーン
(Web3)
デジタル資産・スマートコントラクト

ビッグデータ
人流・消費・行動データ解析

AI (人工知能)
予測・最適化・都市運営

ロボット・IoT
自動運転・警備・サービスロボット

旅行者デジタルID基盤

SBI × Panasonic CONNECT | DNP
Japan Smart Travel ID Platform

パスポート
マイナンバー
海外デジタルID
eKYC・本人確認
決済・地域通貨

データ連携による都市運営

観光・交通
商業・消費
安全・防災
環境・インフラ

地域通貨・ステーブルコイン

・キャッシュレス決済
・インバウンド対応
・エリアマネジメント財源
・安心・安全な街づくり

ナイトタイムファンド



- イノベーションを起こすイベント
- 決済システム・DIDインフラ
- Venue / Event IP / Startup投資

SBIが伴走し、ナイトカルチャーを持続的に育成

育つ土壌をつくる



- 音楽・食・アート・テックの融合
- 起業家・投資家・クリエイター交流
- 実証 → 事業化 → 常設化

大阪発のカルチャー・イノベーションを創出

自走できる仕組みへ



- イベント収益の再投資
- 投資リターンへの再投資
- 地域通貨の活用
- 次の企業・文化・イベントを育てる

街の価値が循環し、持続的に成長

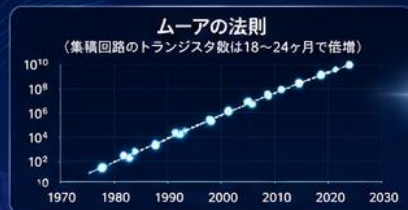
社会的インパクト



- 経済の持続的成長
- ウェルビーイングの向上
- 社会課題の解決
(安全・環境・地域連携性)
- 持続可能な地域環境
- 誰一人取り残さない社会

ムーアの法則から進化する、人間中心の社会へ

Web3の世界観で、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合し、経済発展と社会的課題の解決を両立する未来社会



テクノロジーの
指数関数的進化を、
人間と社会の進化へ

Web3で実現する信頼のネットワーク社会

自律・分散・共創による価値循環

サイバー空間 (デジタルツイン/メタバース)

- ・データがつながり価値を生む
- ・分散型IDと信頼の構築
- ・自律分散型の経済圏 (DAO)
- ・リアルタイムの最適化・予測
- ・グローバルな参加と共創

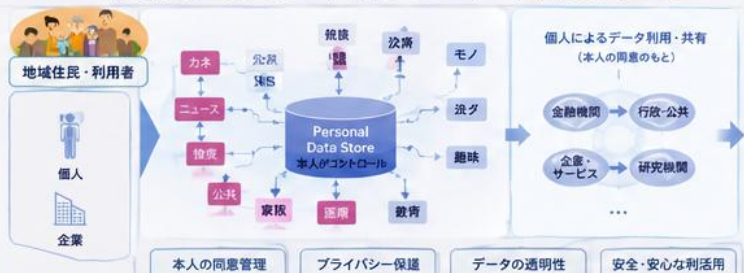
フィジカル空間 (現実世界)

- ・豊かな暮らしと体験の提供
- ・安全・安心な社会インフラ
- ・持続可能な都市・環境
- ・産業の高度化・自動化
- ・人とテクノロジーの共生

人間中心の社会

経済発展と社会的課題の解決を両立

個人情報の民生化：利用者主導のデータ利活用 (PDS)



データ保管基盤：多層データ基盤 (PDS基盤)



情報銀行モデルによるデータ流通エコシステム

個人の同意のもと、データを安全に流通・活用



要素技術の融合で未来を創る

ブロックチェーン (Web3)

- ・非中央集権・透明性・改ざん防止
- ・スマートコントラクトによる自動実行
- ・トークンエコノミーで価値循環

ビッグデータ

- ・多様なデータの収集・統合・分析
- ・リアルタイム処理と予測
- ・データドリブンな意思決定

AI (人工知能)

- ・高度な分析・予測・最適化
- ・個別最適から全体最適へ
- ・自律的な判断と支援

ロボット・IoT

- ・自動化・遠隔化・省人化
- ・IoTで現実世界をセンシング
- ・ロボットが人の能力を拡張

要実現する未来社会



経済の持続的成長



ウェルビーイングの向上



社会課題の解決



持続可能な地球環境



誰一人取り残さない社会

テクノロジーの進化を、
人と社会の幸福へ

Osaka Night Park

テクノロジーで、もっと自由で、もっと安全で、もっと特別な夜を。

- 人・まち・経済がつながる次世代ナイトエコシステム -

OSAKA
NIGHT
PARK

1 本人確認・利用コンテンツ

スムーズで快適なナイト体験の入口



デジタルID・本人確認

eKYC / マイナンバー連携 (将来)
パスポート対応 (訪日客)
DID (分散型ID)



チケット・入場管理

イベント予約・購入
QRコード / 顔認証での入場
多会場共通パス



決済・地域通貨

ステーブルコイン・地域通貨対応
キャッシュレス決済
飲食・物販・サービス連携



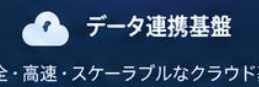
ナイトコンテンツ活用

飲食・エンタメ・ショッピング・アート
デジタルスタンプ・特典
パーソナライズされたレコメンド

来場者



国内利用者 訪日外国人



2 セキュリティコンテンツ

安心して楽しめる夜のまちづくり



入場時の本人確認強化

顔認証・eKYC・不正チケット排除
ブラックリスト管理



AIカメラ・混雑監視

リアルタイム映像解析
混雑・異常行動の検知
関係機関への自動アラート



警備・スタッフ連携

警備員アプリ・位置情報共有
インシデント管理・緊急通報



安全・安心サポート

迷子・体調不良対応
多言語サポート・防災連携
女性・訪日客向けサポート

3 分析コンテンツ

データでまちを進化させる



来場者分析

属性 (国籍・年齢・性別など)
来場者数・リピート率
滞在時間・回遊ルート



エリア回遊分析

エリア別の人流・混雑状況
移動パターン・周遊ルート
コンテンツの人気度



消費・経済効果分析

決済データ分析
業種別売上・支出傾向
地域経済へのインパクト



施策効果・次回企画

イベント効果測定
来場者満足度・アンケート分析
次回イベントへの改善提案

データを活用した
持続可能なナイトエコシステム

NIGHT EVENT
イベント

FOOD & DRINK
飲食

SHOPPING
ショッピング

ART & CULTURE
アート・文化

利用者満足度の向上

地域経済の活性化

安全・安心な街づくり

OSAKA
NIGHT PARK
世界が訪れたいくなる
ナイトシティへ

りんくう＝「旅行者単位の安全」×なんば・心斎橋＝「都市単位の安全」→大阪共通の Night Safety Platform へ

STEP 1 | 2026年度

実証

RINKU

空港・旅行者
セキュリティ

Visitor Journey

本人確認・入場を実装

- ・事前登録／eKYC・QR入場
(パスポート・マイナンバー)
- ・電子チケットとIDの紐付け
- ・年齢確認(対象コンテンツ)
- ・AIカメラで混雑・滞留把握

STEP 2 | 2027年度

事業化

空港～夜間移動へ拡張

- ・デジタルIDの再利用
- ・ホテル／交通との連携
- ・多言語SOS・安全通知
- ・警備本部とのリアルタイム連携

STEP 3 | 2028年度以降

広域展開

旅行者ID基盤へ

- ・関空～泉州の共通ID
- ・DID／VCによる属性証明
- ・広域ナイト交通と連動
- ・観光サービスへ横展開

都市空間で安全PoC

- ・AIカメラ・IoT：人流／混雑／滞留
- ・警備員へのアラート共有
- ・SOS／救護／迷子対応
- ・エリア別ヒートマップ

Night Safetyを常設化

- ・複数施設・商店街データ連携
- ・混雑予測／警備配置最適化
- ・来場者への混雑回避通知
- ・運営KPIダッシュボード

大阪Night Safety Platform

- ・ミナミ全域→大阪市内へ展開
- ・警備／防災／交通データ連携
- ・都市OSとのAPI連携
- ・国際イベント共通基盤化

共通基盤 | NIGHT SAFETY PLATFORM

Digital ID

AI Camera

Security / SOS

Data Analytics

API / Dashboard

本人確認成功率

入場時間

混雑検知精度

警備対応時間

SOS対応時間

安全満足度

回遊・滞留

ナイトタイムエコノミー × ステ이블コイン

決済を「街の維持・価値向上」の財源に変える、エリアマネジメント型決済インフラ

